

東京湾海況情報 25-9

東京湾水質調査結果（平成25年12月）

（平成25年12月16日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒 293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 12/3：内湾（わかふさ）、12/2：内房海域（ふさみ丸）
 関東・東海海況速報(12/3)、東京湾口海況図(12/3)
 モニタリングポスト(12/3：国土交通省関東地方整備局)
 (独)国立環境研究所(12/3)、東京都環境局(12/3)、 神奈川県水産技術センター(12/4)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)はほぼ全域で14~15℃台で、中央から北部では平年よりやや低めになっています。塩分はおおむね30~32PSU台前半で、ほぼ平年並みでした。

また、縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、水温・塩分とも表層から水深20m付近まではほぼ一様に分布しています。

一方、内房海域の表層水温は15~17℃台で、金谷から久里浜を結ぶライン以南では平年より約1~2℃低めでした。

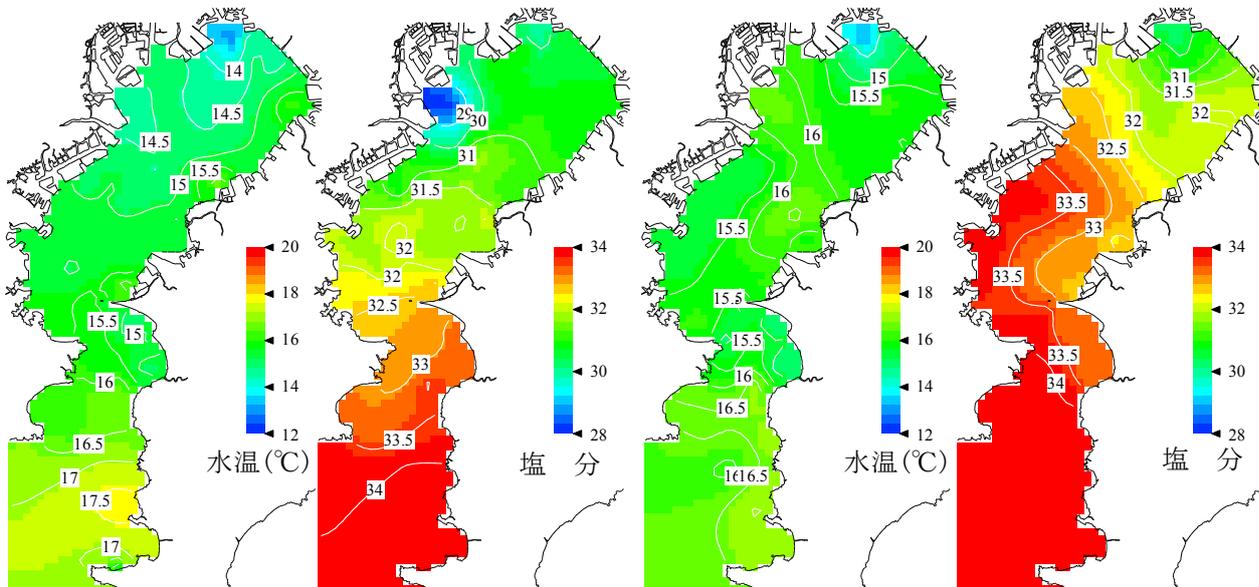


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

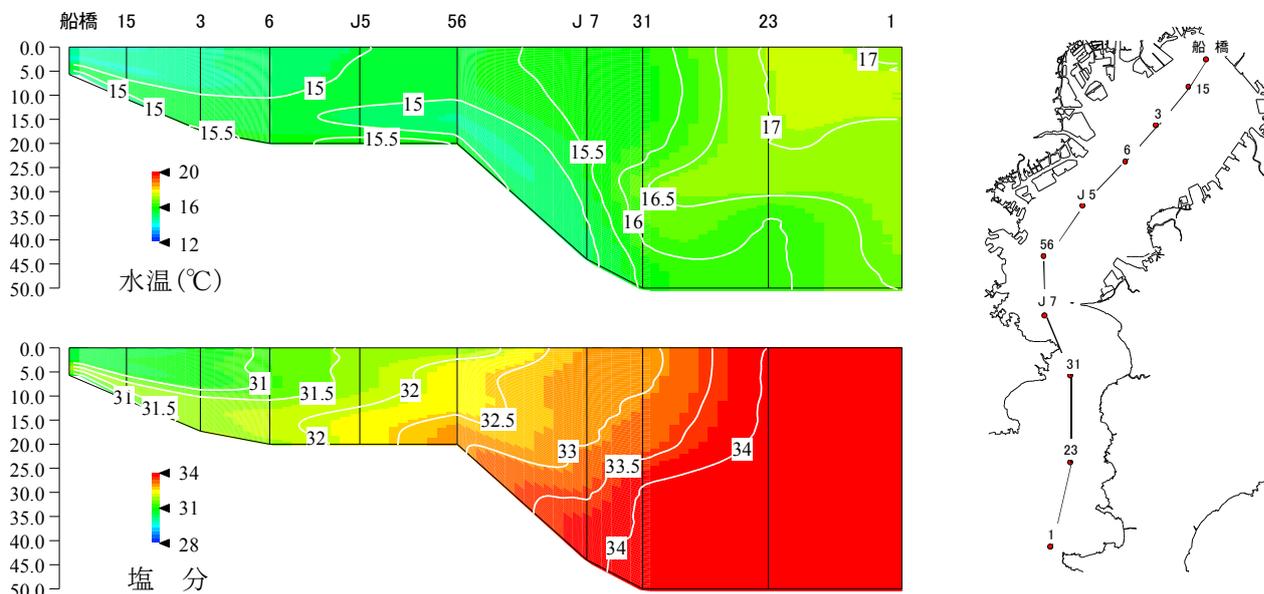


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮は全域で発生していません。
 プランクトンは少なく、ケイ藻のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) やキートケロス (*Cheatocecos* spp.) がみられる程度です。
 透明度はおおむねで4m以上あり、水色もほぼ緑から黄緑色でした。
 今回、有害プランクトンのシャトネラ属プランクトン (シャトネラ マリーナ) が内湾3地点 (アケライン北、南及び富津) で確認されましたので、今後の動向に注意する必要があります。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 μ g/L以上

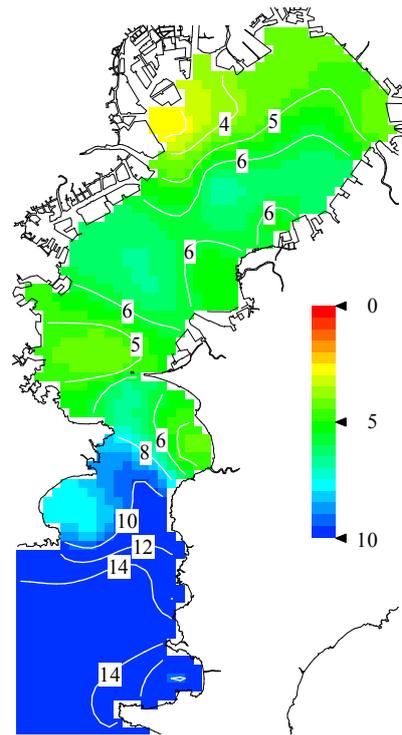


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量 (図5, 6) は最も低いところで3ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

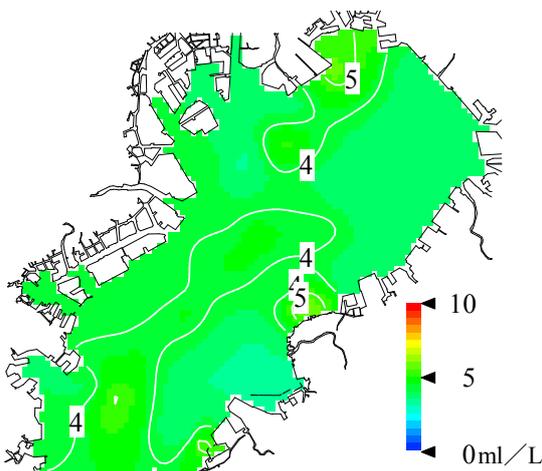


図5 底層部の溶存酸素量の分布 (内湾)

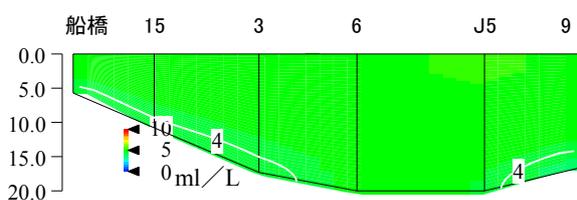


図6 縦断面の溶存酸素量の分布 (内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩 (図7) は、溶存無機窒素 (DIN)、リン酸態リン (PO_4-P) とほぼ全域で平年より少なく、内湾から内房北部ではリン酸態リンが平年の半分以下になっています。

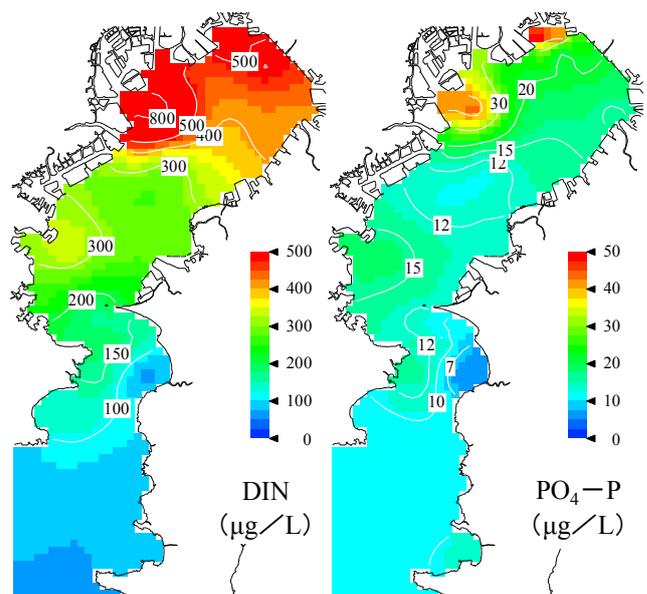


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

【黒潮の状況】

黒潮はC型基調で推移し、その流軸は3日現在、八丈島の南を通過した後、北上し、房総半島南東岸を接岸しながら北東方向に流れています(図8)。

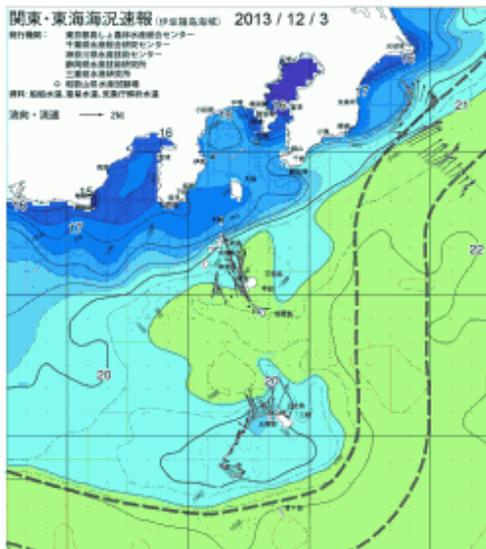
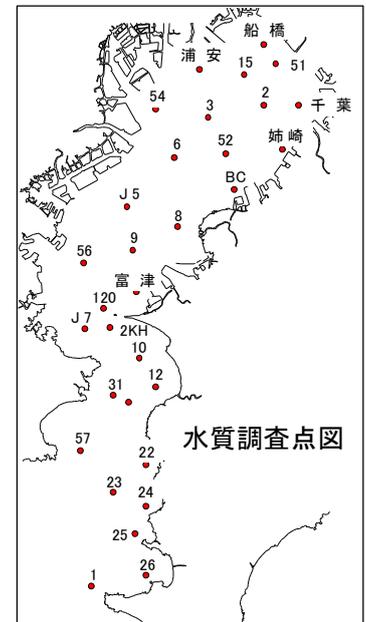


図8 黒潮の動き (平成25年12月3日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	14.1 (14.8)	30.28 (31.00)	4.5 (4.1)	8.4 (8.2)	3.8 (4.9)	91 (113)	499 (557)	24 (55)
	st.15	14.0 (15.1)	30.29 (30.99)	4.6 (4.1)	8.2 (8.2)	4.0 (4.7)	73 (95)	463 (535)	20 (46)
	st.3	14.4 (15.1)	30.58 (30.37)	5.0 (5.0)	8.3 (8.3)	3.8 (4.4)	70 (94)	453 (586)	19 (41)
	st.6	14.7 (15.1)	31.12 (30.85)	6.7 (5.9)	8.3 (8.3)	4.4 (4.4)	60 (77)	355 (518)	14 (40)
	st.9	15.3 (15.5)	31.63 (31.50)	6.8 (6.3)	8.2 (8.3)	3.4 (5.0)	55 (55)	284 (420)	13 (36)
	st.BC (盤洲Cブイ)	16.3 (16.6)	31.10 (31.54)	5.4 (4.9)	8.2 (8.2)	3.5 (4.8)	64 (72)	335 (463)	14 (41)
	st.8 (盤洲A南)	15.2 (15.7)	31.53 (31.78)	5.4 (5.4)	8.2 (8.2)	3.2 (4.7)	50 (67)	273 (428)	12 (39)
	富津	15.6 (15.7)	32.19 (31.77)	5.6 (4.9)	8.2 (8.2)	3.6 (5.0)	44 (58)	225 (371)	13 (31)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	15.6 (16.0)	32.69 (32.77)	7.0 (7.1)	- (8.2)	24 (46)	154 (304)	11 (29)	分析中
	st.31	15.7 (16.9)	32.87 (33.07)	9.5 (11.7)	- (8.2)	18 (29)	150 (231)	14 (23)	
	st.23	17.1 (18.8)	34.04 (33.94)	16.0 (16.5)	- (8.2)	11 (15)	68 (106)	9 (12)	
	st.1	16.9 (19.3)	34.07 (34.29)	13.0 (17.5)	- (8.2)	15 (13)	54 (61)	10 (8)	
	st.10 (下洲沖)	15.3 (16.8)	32.82 (33.16)	5.5 (8.8)	- (8.2)	28 (34)	150 (236)	11 (23)	
	st.12 (湊沖)	15.0 (16.7)	33.17 (33.28)	5.0 (6.6)	- (8.3)	7 (25)	49 (194)	3 (20)	
	st.22 (保田沖)	16.6 (18.9)	33.77 (34.15)	12.0 (12.8)	- (8.3)	13 (12)	72 (81)	9 (9)	
	st.24 (富山沖)	17.4 (19.2)	34.20 (34.21)	12.0 (13.6)	- (8.2)	5 (10)	61 (66)	9 (8)	
st.26 (館山湾内)	17.3 (19.6)	34.26 (34.26)	10.0 (12.7)	- (8.2)	6 (11)	74 (56)	11 (7)		

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。